

山口県萩市の取り組み紹介 むつみ元気支援隊の取り組みとその支援

○萩市の状況

萩市は、人口49,698人、高齢化率40.0%(平成29年1月現在)で山口県北部に位置しています。

○むつみ地域の取り組み

萩市むつみ地域は、市街地から車で約30分の高齢化率が50%を越える中山間地域です。高齢者の日常生活の困りごとの解消、見守りの支援体制づくりのため、住民ボランティアによる「むつみ元気支援隊」が結成され、サロンを運営するほか、平成25年8月から住民共助による支え合い活動として「むつみ愛サービス」を行っています。

「むつみ愛サービス」最初の活動は、25年7月の集中豪雨災害時の流入土砂の搬出作業だったそうです。

(事業の内容)

- ①ゴミ出し、買い物代行、雪かきなどの生活支援
- ②世代間交流の場づくり、交流イベント実施 等

※「むつみ元気支援隊」の「むつみ愛サービス」の取り組みは、「第3回健康寿命をのばそう！アワード《介護予防・高齢者生活支援分野》」の厚生労働大臣最優秀賞を受賞しています。



市役所、社会福祉協議会、
むつみ元気支援隊の皆さま→

○萩市の取り組み

萩市では、「むつみ元気支援隊」のような住民主体の取り組みを後押しするため、全国的にも珍しい、住民主体の生活支援サービス実施団体に市公用車の貸し出しを行っています。ガソリン代、保険料等も市が負担しています。

この取り組みは、移動手段を求める住民のニーズを踏まえた新しい取り組みとして注目されます。

この他、地域住民が主体となって家事援助等の訪問サービス、サロン活動等の通所サービスを行う団体への補助金交付や市内を16圏域に分けて、地域支えあい推進員・協議体の設置等の支援を行うなどしています。



←市が貸し出している
公用車
(萩市広報から)



【市・社会福祉協議会・住民の協働による取り組み】

・「むつみ元気支援隊」は、住民自身が、地域で支え合う必要性を認識し、自主的に行っている取り組みですが、その活動に当たっては、「移動」の手段確保が大きな課題である点を踏まえ、市が公用車の貸し出しを行っています。

市社会福祉協議会も「むつみ元気支援隊」と同じ「萩市むつみ世代間交流拠点施設」内に拠点を置き、その活動の後押しをしています。このことも取り組み成功に大きな役割を果たしていると考えられます。

・市、社会福祉協議会、住民が相互に連携し、まさに「地域づくり」と言える活動を展開している先進的な取り組みです。